

# 自殺対策計画主要事業の実績

【資料第4号】

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	令和元年度実施状況	令和元年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度(%)	今後(令和2年度以降)の実施計画	令和2年度実施状況※次回会議で報告
<b>基本施策 1 区民への自殺対策の啓発と周知</b>									
1-1. 自殺対策に関する理解の促進	自殺対策講演会	21	保健衛生部	予防対策課	年1回開催(9月) 48人参加	テーマは「認知行動療法について」、区民が心の健康について意識の向上を図ることができた。	参加者の理解度 87%	継続実施	—
1-2. 自殺やこころの健康に関連する情報提供の充実	相談窓口リーフレットの作成配布	21	保健衛生部	予防対策課	リーフレット 4000部作成し、関係機関に配布	区民対応部署を中心に配布を行うことができた。	100%	継続実施	—
	こころの体温計	21	保健衛生部	予防対策課	令和元年度アクセス数 延べ13,618人	ホームページ等で周知し、啓発を行った。	100%	継続実施	—
	自殺対策啓発グッズの作成・配布	21	保健衛生部	予防対策課	周知用クリアファイル500作成、リーフレット2,500作成	関係機関及び自殺対策講演会関連事業の際に配布を行った。	100%	継続実施	—
1-3. 精神疾患に対する理解の促進	精神保健講演会	21	保健衛生部	保健サービスセンター	年2回開催 延べ55人参加	「アルコールとの付き合い方」「ゲーム障害」と身近なテーマで知識の普及を図ることができた。	100%	継続実施	—
<b>基本施策 2 自殺対策を支える人材の育成</b>									
2-1. 様々な分野でのゲートキーパーの養成	ゲートキーパー養成講座	24	保健衛生部	予防対策課	年3回実施予定が年2回の実施 ①区民対象⇒感染拡大防止のため中止 ②区職員対象⇒11人参加 ③区専門職対象⇒保健師12名参加	区一般職員、区専門職、区民向けの3回を企画した。区民向けは新型コロナウイルス感染症感染拡大で直前で開催中止となった。職員課と共催で実施することで、計画的な職員の受講を促し、引き続き職員の自殺対策への意識を高めていきたい。	理解度平均 95%	区民、区一般職員、区専門職の3対象に向けて、対象別の講座を継続実施し、人材の育成を図る。	—
2-2. ゲートキーパーの資質の向上	専門的な知識を持った支援者の育成や研修で活用できる資料の検討	24	保健衛生部	予防対策課	ゲートキーパー養成講座のアンケートの様式の整備と講座参加者への自殺対策計画の周知	ゲートキーパー養成講座のアンケートの様式を統一し、毎年の理解度の評価を比較できるようにした。養成講座の参加者へ自殺対策計画について周知を行い、対策の重要性を認識してもらい、各自の役割の認識を深めてもらうことができた。	数値評価は困難	アンケートの実施、計画の周知は継続実施。質を担保するための資料作成は次年度以降検討する。	—
<b>基本施策 3 自殺を防ぐための関係機関・地域ネットワークの強化</b>									
3-1. 自殺対策関係会議の運営	文京区自殺対策計画策定検討会議	26	保健衛生部	予防対策課	1回開催	7月の計画策定に向け、最終確認の会議を実施した。年度末に進行管理のために会議を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で年度内の開催ができなかった。	50%	計画の進行管理を行うため、計画策定会議ではなく、自殺対策推進会議と名称を変更し、開催予定。また、会議の委員の所属団体等に自殺対策計画の周知等を行い、引き続き連携していく。	—
3-1. 自殺対策関係会議の運営	文京区自殺対策委員会	26	保健衛生部	予防対策課	1回開催	7月の計画策定に向け、最終確認を実施した。年度末に進行管理のために会議を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で年度内の開催ができなかった。	50%	計画の進行管理を行うため、開催予定	—
3-2. 関係機関と連携した自殺対策の推進	区内大学地域連携担当者会議	26	アカデミー推進部	アカデミー推進課	1回参加	区内大学に向け、策定後の自殺対策計画について周知を行った。	100%	若年層の自殺対策を推進するため、引き続き、区内大学と自殺対策の情報共有を行っていく。	—
3-2. 関係機関と連携した自殺対策の推進	文京区地域精神保健福祉連絡協議会	26	保健衛生部	予防対策課	1回開催	区の精神保健福祉施策について、検討を実施した。	100%	継続実施	—
3-2. 関係機関と連携した自殺対策の推進	文京区精神障害者支援機関実務者連絡会	26	保健衛生部	予防対策課	2回実施	区内の精神障害に関わる事業者の連携体制の構築と研修による質の向上を目指して、2回会議を実施した。3回の予定であったが、3回目は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、直前で開催中止となった。	60%	継続実施	—
<b>基本施策 4 悩みを抱える人への支援</b>									
4-1. 相談体制の充実	保健師による健康相談	31	保健衛生部	保健サービスセンター	訪問、所内、電話等で延べ4,024件の相談	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に保健師による相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施	—
	精神保健相談	31	保健衛生部	保健サービスセンター	専門医師による個別相談、相談48回実施、相談延べ人数81人	引き続き、精神障害を持つ方およびその家族等を中心に医師による専門相談を継続していく。	数値評価は困難	継続実施	—
	障害者基幹相談支援センター	30	福祉部	障害福祉課	障害の種別(身体障害・知的障害・精神障害・難病等)にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を実施した。	障害の種別(身体障害・知的障害・精神障害・難病等)にかかわらず、総合的・専門的な相談対応を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施	—
	地域安心生活支援事業	30	保健衛生部	予防対策課	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を実施した。	精神障害者が地域で安心して生活するための相談事業、緊急ショートステイ事業、地域生活体験事業を継続実施する。	数値評価は困難	継続実施	—
4-2. 自殺未遂者への支援体制の確保	自殺未遂者対策連絡会	31	保健衛生部	予防対策課	研修会への参加	都の研修等で自殺未遂者への支援について、他自治体や病院の取組を知ることができた。	数値評価は困難	区内の病院等関係機関と情報共有し、未遂者支援の準備事業を行う。	—